

2019年度 自己評価結果公表シート

学校法人 京新学園
三井中央幼稚園

1. 本園の教育目標

「知」・「徳」・「体」・「食」のバランスのとれた保育を教育方針とし、幼児教育を行っている。
「知」・・・知恵、考える力を育てる
「徳」・・・善悪の判断を自分でできる子どもに育てる
「体」・・・健康な体に育て、十分な体力をつけさせる
「食」・・・食に関心をもち、感謝する心を育てる
この精神を基にして、先生や友達と一緒に幼児期に必要な経験を積むことで、人との信頼関係やコミュニケーション能力を育て、意地悪をしない正しい心、人を許せるやさしい心、嘘をつかない強い心、謝ることのできる素直な心を持った心豊かな子どもの育成を目指している。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育目標の具現化を図るため、教職員どうしの意見交換の場を設け、教育の質を高めるとともに、本園の中・長期のビジョンに沿った運営を図る。

3. 評価項目の達成及び取組状況

| 評価項目 | 取組状況 |
|----------------|--|
| 1. 保育の質の向上 | <ul style="list-style-type: none">・行事等の反省を学年毎でまとめ、それを学年の代表が持ち寄って話し合う形にしたことで、会議時間の短縮になり、翌日以降の保育の準備や話し合いに時間を使うことが出来た。・臨床心理士の先生による園内研修は、日ごろ、担任が抱えている問題を解決したり、子どもの発達についてより具体的に学べたりして、子ども理解に繋がった。 |
| 2. 子育て支援の環境づくり | <ul style="list-style-type: none">・2歳児保育や園庭開放の充実によって、子育て経験のあるベテラン保育者が、子育て中の保護者の話や悩みを聞き、寄り添うことが出来た。 |
| 3. 異年齢児との交流など | <ul style="list-style-type: none">・年中年少は次年度に取り組む運動会の演技について、取り組みの初回に年長組や年中組が間近で手本を見せる機会を設けることで、上級児は自覚と自信に、下級児は憧れと理解と期待に繋がっている。 |
| 5. 危機管理・安全管理 | <ul style="list-style-type: none">・プレイランドでは、遊ぶ前に子ども達と約束事を確認したり、危険な遊びを目撃した場合は、職員間で情報を共有してクラスでの話し合いを持ったりして、子ども自身で見直しができる機会を設けるようにした。・アレルギーや持病について、担任だけが知っておくのではなく、全職員で情報を共有することで、担任以外の職員も適切な対応が出来る。 |

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

行事やカリキュラムの反省はその都度行い、その反省を生かして次に取り組んでいる。経験の浅い職員も意見が出しやすい雰囲気を作り、様々な経験や年齢、立場からの意見を取り入れて、保育を見直していきたい。

5. 今後取り組むべき課題

| 課 題 | 具体的な取り組み方法 |
|----------------|---|
| 1. 保育の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、保育誌や研修、職員同士の情報交換や外部講師への相談などを通して、教材や指導方法について研鑽を積んでいく。 |
| 2. 異年齢児との交流など | <ul style="list-style-type: none"> 延長保育での交流が普段の保育でも生かされ広がっていくように工夫し、配慮する。 引き続き、朝や昼食後の外遊びの時間に、交流する場を設けられるよう工夫する |
| 3. 危機管理 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者が園に出入りする際、門のオートロックがされるのを確認せずに門を離れてしまい、門が開いたままになってしまうことがあるので、施錠を確認してもらうよう促していく。 感染症予防対策への職員の意識を高め、手洗いや消毒、マスクの着用などが生活習慣として子ども達に身に着くよう指導をしていく。 |
| 4. 子育て支援の環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士の先生と保護者を繋ぎ、専門家の意見を保護者に直接聞いてもらうことで、保護者に安心してもらえたり、子どものことを客観的に見てもらったりする機会を設ける。 |

6. 学校関係者の評価

- すべての先生が園の情報を共有しており、ベテランの先生はもちろん新しい先生も委縮することなくのびのびと保育を行っていると感じる。
- カリキュラムは充実しており季節の行事や家庭ではなかなか経験しがたいものもあり、子どもの成長にとっても刺激になっている。
- 定期的に縦割り保育があるようで、自由時間や延長保育時には交流のなかった他学年のお友だちがたくさんできた。
- 年間の行事がとても豊富で、それに伴い秋分の日などの行事の慣わしをその年齢に応じた言い方で子どもたちに詳しく教えてくれます。カリキュラムも豊富で特にプールは小学校と変わらない大きなプールで入れる環境にあり、日々の体力作りにつながり親としてとても有難い。外部講師の先生もたくさん来て頂いて、普段の先生以外で子どもが接する機会があり、保育の向上が感じられる。